

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月01日

計画の名称	邑南町における下水道事業の推進												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	邑南町												
計画の目標	観光エリアの排水区域を公共下水道に統合することにより、事業の効率化を行うと共に、安定した水環境の保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	200	A	200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	公共下水道整備率を97%(H30)から100%(H34)に増加 公共下水道処理区域面積に占める下水道処理区域整備済面積の割合 公共下水道整備率 = (公共下水道区域整備済面積) / (公共下水道処理区域面積)	97%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	邑南町	直接	邑南町	管渠(汚水)	新設	管渠整備事業(石見処理区)	汚水管 150以下 L=2.0km	邑南町						200	-	
											小計						200		
											合計						200		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	9				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	9				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	9				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称 邑南町における下水道事業の推進

計画の期間 平成30年度 ~ 平成34年度

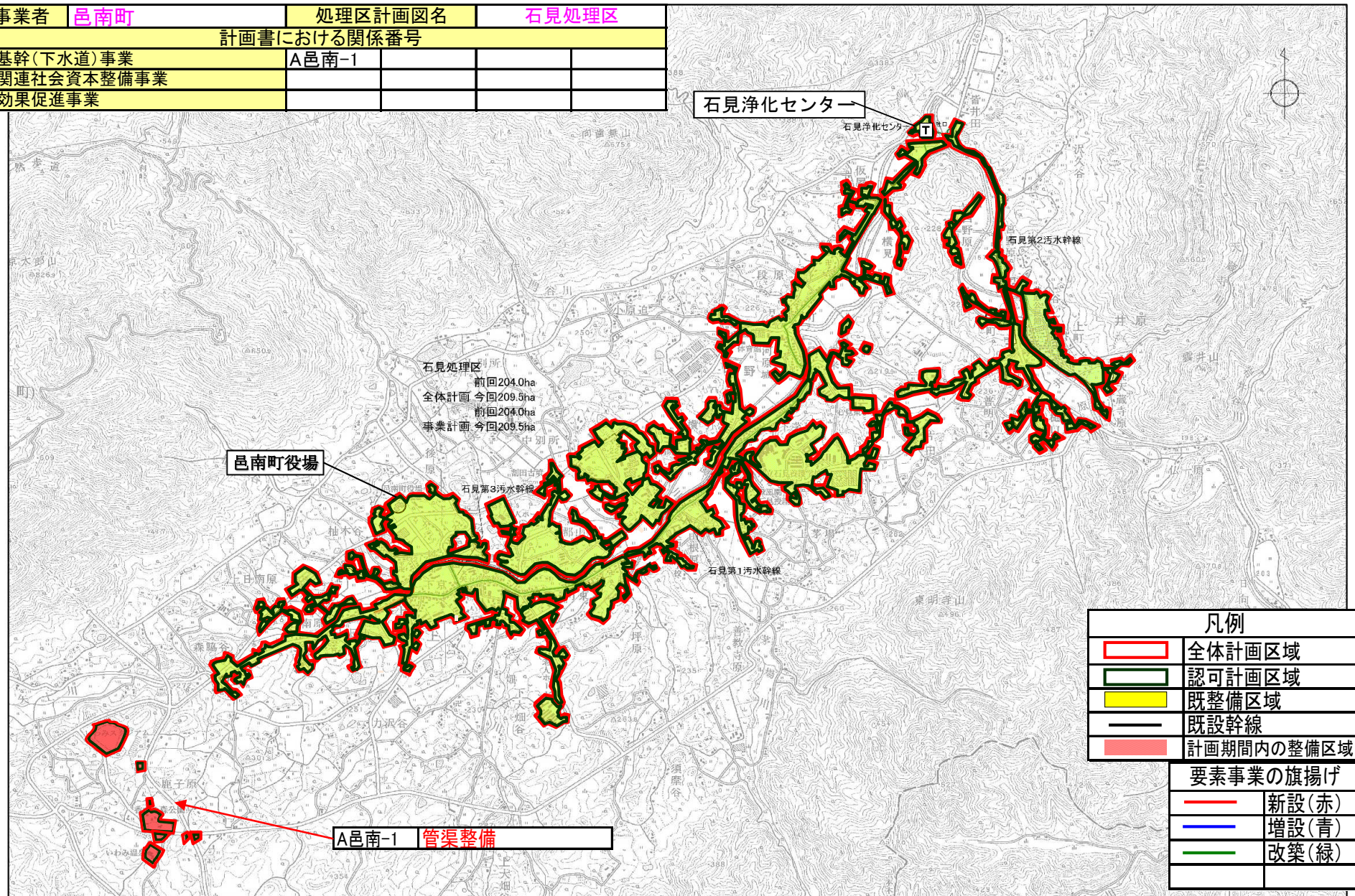
交付対象 邑南町



(参考様式3) 参考図面

計画の名称	邑南町における下水道事業の推進		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度(5年間)	交付対象	邑南町

事業者	邑南町	処理区計画図名	石見処理区
計画書における関係番号			
A: 基幹(下水道)事業	A邑南-1		
B: 関連社会資本整備事業			
C: 効果促進事業			



凡例	
	全体計画区域
	認可計画区域
	既整備区域
	既設幹線
	計画期間内の整備区域
要素事業の旗揚げ	
	新設(赤)
	増設(青)
	改築(緑)

事前評価チェックシート

計画の名称： 邑南町における下水道事業の推進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合	
I. 目標の妥当性 1) 総合計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 事業計画認可と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて成果目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 事業について住民等の理解が得られている。	○